



コース演習室で家具製作をする学生

イベント・シンポジウム等実績報告書 | 配分事業費：386千円

コース演習室スペースデザイン学生ワークショップ

目的・趣旨

デザイン学科新カリキュラムでは、2年生後期に各領域に配属されるため、コース演習室の整備計画が本計画メンバーの設計で実施された。本ワークショップは、整備の一部に学生のデザインと制作活動を組み込むことで、学生の主体的な学びの環境づくりを図るものである。

日時・場所

平成28年4月11日から平成28年10月31日
静岡文化芸術大学 コース演習室、自由創造工房ほか

体制

(実施代表者)	デザイン学部	デザイン学科	教授	磯村克郎
(実施分担者)	デザイン学部	デザイン学科	教授	伊豆裕一
	デザイン学部	デザイン学科	准教授	日比谷憲彦
	デザイン学部	デザイン学科	准教授	亀井暁子
			技術員	寺田隼

共催・後援等

内容

ワークショップ運営は実施分担者で担当し、5/13から夏休みまで毎週金曜日にリサーチ、デザイン検討を学生11名の参画を得て行なった。夏休み中は、3グループに分かれて家具等の制作活動を行った。同時に、京都工芸繊維大学の製図室や研究室を見学し、教員側・学生側の様々な工夫や運営の実態を把握した。

結果・成果

以下のような制作物ができあがり、デザインを学ぶ環境づくりの一端を担った。

- ・コミュニケーション用六角テーブル（既存デスク利用）・・・8セット（2分割で組み替え可能）
- ・ホワイトボード付き移動収納ラック・・・6セット
- ・間仕切り収納家具・・・9セット
- ・ゴミ箱（既存デスク利用）・・・3セット
- ・ゴミステーション（既存デスク利用）・・・1箇所（廊下設置：財務室承認、本年度内の試行とする）
- ・リフレッシュスペース・・・1箇所（設置場所調整中）

参加学生は、2年生前期という初期の段階で、グループ活動やものづくりの面白さ、大変さ、技術を体験し、勉強になったという声を得た。

また、学生によるコース演習室の利用ルールをつくらうという意見が出ており、今後の自主的な活用への意識付けも進んでいくのではないかと考えられる。



学生によるアイデアスケッチ



ワークショップの場面



総合組立アトリエで家具製作をする学生



制作物を使い始める学生